

ここにタイトル

氏名
**研究室

○月×日

このページのタイトル

まずファイル名を変えて他人のものと区別がつくようにしましょう。

(同名のファイルを複数の学生から受け取る教員の身になってください。)

スライドには内容を詰め込みすぎないようにしましょう。
より詳しいことは予稿に書いておけばいいでしょう。

山根が作ったスライドの例が

<http://sci-tech.ksc.kwansei.ac.jp/~yamane/> にあります。

このページのタイトル

まずファイル名を変えて他人のものと区別がつくようにしましょう。

(同名のファイルを複数の学生から受け取る教員の身になってください。)

スライドには内容を詰め込みすぎないようにしましょう。
より詳しいことは予稿に書いておけばいいでしょう。

山根が作ったスライドの例が

<http://sci-tech.ksc.kwansei.ac.jp/~yamane/> にあります。

バーゼルの問題

$$\sum_{n=0}^{\infty} \frac{1}{n^2} = \frac{\pi^2}{6}$$

このページのタイトル

まずファイル名を変えて他人のものと区別がつくようにしましょう。

(同名のファイルを複数の学生から受け取る教員の身になってください。)

スライドには内容を詰め込みすぎないようにしましょう。より詳しいことは予稿に書いておけばいいでしょう。

山根が作ったスライドの例が

<http://sci-tech.ksc.kwansei.ac.jp/~yamane/> にあります。

バーゼルの問題

$$\sum_{n=1}^{\infty} \frac{1}{n^2} = \frac{\pi^2}{6}$$

どうです。きれいな式でしょう。

(色付きの)箱で囲む

目立たせたいところは $a(z_j) = 0$ や $\phi_n = b\psi_n + a\psi_n^*$,

$$X_{n+1} \approx \begin{bmatrix} z & 0 \\ 0 & z^{-1} \end{bmatrix} X_n.$$

のように色付きの箱で囲むことができます。

「赤い箱の式」のように口頭で言えば、どの式のことか聴衆に分かってもらえます。

エーゼットジェイイコールゼロというよりずっと分かりやすいでしょう。

色付きの下線を引く手もあります。

式自体に色を付けて x^2 のようにすることができますが、読みにくくなるのが難点です。

別行立ての数式を箱で囲む

$$\sum_{n=0}^{\infty} \frac{1}{n^2} = \frac{\pi^2}{6}$$

別行立ての数式を箱で囲むこともできます。前田一貴さんに教わった方法を使いました。